



ふれあいの海辺をめざして

浜中・沖見海岸周辺整備基本計画

◆整備の項目◆

- 人口リーフ**
- 傾斜護岸** 海岸の浸食防止と波の静穏化を図るとともに、海水浴場として利用されている海浜地の環境整備のためのもの。
- 養浜工**
- 階段護岸** 内陸地域(上川・空知管内)に対する臨海型観光レクリエーション地域として形成されているが道路交通網整備が推進される中、日本海オロロンラインの中継点として、また広域観光圏の拠点として位置づけられており、その中核都市にふさわしい都市観光をめざします。
- 海水浴場**
- キャンプ場**
- 緑地の集いの広場** 都市型観光資源の創造として海洋開発との関連の下にC・C・Zの整備を進め、このエリアと市内観光拠点を結びつけることによって留萌市におけるさまざまな観光資源を生かし45日観光から半年、通年型観光をめざします。
- パーキングエリア**

沖見地区においては遊びの空間の中に「うるおい」や「やすらぎ」を感じさせる快適な水辺環境のための積極的な施設の導入を図り、また浜中地区においては特に現在、浜中海水浴場の市有地、民有地の遊休地等を利用して駐車スペースの確保に努めてきたが、元来絶対的スペース不足があり、更に今回一般国道231号線の拡幅工事に伴い現在利用されている駐車スペースの多くを消失することから、沖見、浜中地区での環境整備計画の進む中、これらを見据えた駐車場整備を図っていくことを整備方針の柱とし計画を進めていきます。

駐車ゾーン

浜中地区については、地形上の理由もあり、便益施設や国道からのアプローチ(斜路、階段)などの必要最小限の施設の導入以外は全て駐車スペースとして配置される計画です。

中央ゾーン

多目的広場として、さまざまなイベントやレクリエーション活動ができるようにし、モニュメントを配し集える場として計画されています。

◆基本計画の概要◆

修景ゾーン

海水浴客がパーゴラ・シェルター等の休憩施設を利用しながら花時計、花壇等の花木や噴水の景観を觀賞できるものと計画されています。

遊劇ゾーン

世界の帆船を形取った大型コンビネーション遊具を中心に、子供たちが豊かな想像力を生みだしながら遊びを満喫できる遊戯施設の導入を図る計画です。

◆C・C・Z(ふれあいの海辺)整備計画の関連事業◆

本計画はコスタル・コミュニティ・ゾーン整備計画の一環として位置づけられています。(主に関連性の深いものを中心に掲載します。)

留萌海岸環境整備事業…………… 海岸の浸食防止と波浪静穏化を図るとともに、海水浴場として利用されている海浜地の環境整備を図ります。
沖見地区
(潜堤工・護岸工)

オタルマセタベツ川…………… 融雪、豪雨等による崩壊及び土砂流失から地域住民を守り、合わせて良好な基盤整備を図ります。
砂防事業

西海岸線道路整備事業…………… オロロンラインの中継基地黄金岬海浜公園と浜中海水浴場を結ぶ観光道路の整備を図ります。

一般国道231号線…………… 環境整備に伴い交通量の増大が予想されるため、これに対する整備を図ります。
拡幅工事(浜中地区)

